

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
CI-3	<p>以下の低圧注水可能系統のうち少なくとも2系統の起動を試みる。 (補2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水系 (LPCP, HPCP) (補3) ・CS-A系 ・CS-B系 ・LPCI-A系 ・LPCI-B系 <p>1. 復水系を起動する。 (補3)</p> <p>(1) ホットウェル水位を確保する。</p> <p>(2) LPCP を起動する。</p> <p>(3) M/D RFP のミニフロー弁を「開」する。</p> <p>(4) HPCP を起動する。</p> <p>(5) M/D RFP のFCVを「開」する。 FCV 開不能の場合は、M/D RFP を停止し、PNL9-6 T22 TF98Y03①とTF98Y04②をジャンパー後、RFPバイパス弁[MO-305]を「開」する。</p> <p>2. CS-A系を起動する。</p> <p>3. CS-B系を起動する。</p> <p>4. LPCI-A系を起動する。</p> <p>5. LPCI-B系を起動する。</p>	<p>第15条緊急事態： 原子炉冷却材の漏えいが発生、又は全ての給水機能が喪失した場合において全てのECCSによる原子炉への注水ができないこと。</p> <p>(補2)左記1項目が1低圧注水可能系統を表わす。 系統運転可能な原子炉圧力範囲は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LPCP 0～1.18MPa ・HPCP 0～5.20MPa ・CS系 0～2.26MPa ・LPCI系 0～1.86MPa <p>(補3)このシステムのみポンプの台数によらず1低圧注水可能系統と数える。</p>	
CI-4	<p>低圧注水可能系統の2系統以上の起動ができない場合、以下の代替注水系の注入準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MUW系 (復水) (補4)(補5) ・CRD系 ・SLC系 (水源：配管水張りライン、テストタンク、SLCタンク) ・消火系 (補6) ・RHR海水系 (補7) <p>追加起動</p> <p>1. 復水移送ポンプ起動</p> <p>2. CRDポンプ予備機起動</p> <p>注入ラインナップ</p> <p>1. MUW系 (復水)</p> <p>(1) 下記のECCS系の注入ラインのうち注入可能なラインの洗浄水弁を「開」する。</p>	<p>(補4)代替注水系の運転可能な原子炉圧力は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MUW系 (復水) 0～0.98MPa ・CRD系 0～10.30MPa ・SLC系 — MPa ・消火系 0～0.98MPa ・RHR海水系 0～2.84MPa <p>(補5)以下の系統を使用してシュラウド内へ注水できるように準備する) (LPCI注入ラインCS注入ライン)</p> <p>(補6)消火系は給水ラインとの連絡管を用いる。</p> <p>(補7)RHR海水系による海水注入は、緊急時対策本部(TSC)相談の上実施する。</p>	<p>参考資料 (参考5) (図2)</p>

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	<p>a. RHR-A系 LPCI 注入ライン洗浄弁 [V-10-254, 255A]</p> <p>b. RHR-B系 LPCI 注入ライン洗浄弁 [V-10-254, 255B]</p> <p>c. CS系充水加圧PCVバイパス弁[V-79-751]</p> <p>2. CRD系 (1) CRD ポンプを起動する。 (2) CRD 駆動水流量調節弁[FCV-3-19A/B]を手 動にて「全開」する。 (3) CRD 駆動水圧力調節弁[MO-3-20]を「全 開」する。</p> <p>3. SLC系 (補8) (1) SLCタンク出口弁[V-11-11]を「全閉」に する。 (2) SLCポンプ吸込ライン純水入口弁[V-11- 24]を「全開」する</p> <p>4. 消火系 (1) 消火系～給水ヘッダー連絡メガネフラン ジを「通水側」にする。 (2) 消火系～給水ヘッダー連絡弁を「開」す る。 a. 消火系～給水ヘッダー連絡ラインドレ ン弁[V-32-123-1, 123-2]の「閉」を確 認する。</p> <p>5. RHR海水系 (補7) (1) RHRS-RHR連絡メガネフランジを通水側に する。</p>	<p>(R/B 1FL パーソナルエアロック室上) (R/B 1FL パーソナルエアロック室上) (R/B 2FL 東側)</p> <p>(補8)テストタンク使用の場合も、テス トタンク出口弁開前に SLCタンク出 口弁を閉にすること。</p> <p>(T/B 1FL ヒータルーム山側) (T/B 1FL ヒータルーム山側)</p> <p>(補7)RHR海水系による海水注入は、緊 急時対策本部(TSC)相談の上実施す る。</p>	<p>参考資料 (参考 5 図 4)</p> <p>参考資料 (参考 5 図 5)</p> <p>参考資料 (参考 5 図 1)</p>
C1-5	水位がT A F以上に回復した場合、「水位確保」 (RC/L)へ移行する。		
C1-6	<p>1. 水位がTAF以下だが水位が上昇している場合、 「水位上昇中」(C1-7)の操作を行う。</p> <p>2. 水位がTAF以下で水位が下降している場合、 (水位の動向が不明の場合及び水位安定中を 含む)「水位下降中」(C1-8)の操作を行う。</p>		